

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



■ 虫歯について

『市内の児童・生徒のみなさん！ 食後の歯磨きは励行していますか？』

市役所の健康増進課から、資料として「平成23年度山口県子どもの歯科保健統計（平成24年3月発行）」が届きました。山口県歯科医師会が出したものです。それによると、「12歳児における虫歯のない人（永久歯）の割合」も、「中学生における虫歯のない人（永久歯）の割合」も、本市の児童・生徒の成績が際立って悪いのです。

12歳児の場合、虫歯のない人の割合は、13市のうち、トップが光市で70.11%、12位の長門市でも46.76%なのに、なんと本市では28.75%。最下位でも程度のひどい状態です。

中学生の場合、虫歯のない人の割合は、13市のうち、やはりトップが光市で66.86%、12位の長門市でも41.93%なのに、なんと本市では27.17%で、これまた最下位。12歳児の場合同様、まことにひどい状態です。

歯は心身の健康にとって極めて大切なものです。永久歯の場合、一度失うと二度と生えてくることはありません。子どもたちの末永い健康な生活のために、ぜひ、歯磨きの習慣を身につけさせたいものです。



保護者のみなさん、そして補完的には学校においても、よろしくお願いします。

■ 不納欠損の処理額について

こちらは、少し明るい話題です。

不納欠損とは、個人や法人の住民税や固定資産税等について、支払い能力がないと判断され、その状態が継続して一定期間納税がない場合、欠損として処理される決算上の処分のことです。欠損額は、もとより少ないに越したことはありません。

最近、「2011年度19市町不納欠損処理額」が公表されました。

それによると、昨年度の不納欠損処理額を2012年4月現在の人口で割った住民一人当たりの不納欠損額は、一人当たり1,000円を越す市も複数ある中で、13市中、本市は最低の396円でした。金額で見ますと、本市の2011年度の不納欠損額は約2,538万円。前年度より約639万円減少しました。これは、合併後最も少ない金額です。

税金は市民のみなさんからの大切な預かり金であることに改めて思いを至し、細心の注意を持って大切にに使わせていただきます。

今後も、納税について、みなさんのご協力をお願いします。